

疾患別診療計画書

腹壁癒痕ヘルニアにて手術を受ける方へ

全身麻酔



	項目	入院日 手術前日	手術日 術前	手術日 術後	術後第1病日	術後第2病日	術後第3病日	術後第4～5病日	術後第6病日	術後第7病日～退院可能	
準備するもの	書類	手術承諾書を記載し看護師に渡して下さい。								退院証明書をお受け取り下さい。	
	処置	手術	入院時にネームバンドを右手首に付けていただきます。		お部屋に戻ってから翌朝7まで酸素を行います。						
		清潔			手術する部位の毛は必要時、手術室で剃ります。 場合により、麻酔をする部分(背中)の毛を剃ります。 ご自身の前開きのパジャマに着替えていただきます。				医師が、傷の透明な絆創膏が張ってある場合ははがします。	お腹に入っている管を抜きます。	退院後は入浴可能となります。退院前に創に保護テープが貼ってある場合ははがします。
	薬剤	内服	持参薬を看護師に渡して下さい。								腹圧の上昇を防ぐため、便秘気味の方は、緩下剤を処方いたします。担当医師にご相談下さい。
		点滴			食事が摂れないため、点滴を施行致します。			昼頃、点滴を抜去いたします。			
		抗生剤			抗生物質(化膿止め)の点滴を手術室で行います。						
		鎮静・鎮痛剤			痛みのある場合は看護師にお伝え下さい。						創痛や頭痛がひどい場合は、退院処方として痛み止めを処方いたします。担当医師にご相談下さい。
	検査	外来で済ませてありますので、入院後はありません。									
	食事	21時以降食事は控えてください。	3時までは、水分を摂っていただいてもかまいません。食事はお控えください。			9時から水分が摂れます。昼から食事が再開となります。					
	安静度	特に制限はありません。			手術後はベット上安静ですが、寝返りは出来ます。		9時から徐々に歩いていただきます。				特に制限ありませんので、徐々に歩いてください。
排泄	室内トイレをご利用下さい。		排尿は管が入っています。大便はベッド上で排泄していただきます。		午前中に膀胱に入っている管を抜きます。以降は室内トイレをご利用下さい。						
説明・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院生活、手術に関する説明を致します。 薬剤等にアレルギーのある方は看護師へ伝えてください。 			<ul style="list-style-type: none"> 入院中、薬剤師による薬の説明があります。 便秘を予防するため十分に水分をとってください。 嘔気がある場合は看護師へ伝えてください。 							
退院後の治療計画	<ul style="list-style-type: none"> 抗凝固剤を内服していた方は、退院までに再開時期をお伝えします。 創は、糸を埋め込むように縫っていますので抜糸は不要です。 創が赤くなったり、腫れたりした場合は外来受診して下さい。 退院後は適度な運動により便通を整えて下さい。 退院後約1ヶ月は腹圧のかかる動作はお控え下さい。 退院は、傷の状態が落ち着いていれば、術後2日目以降に可能となります。 										